



Musée  
Marmottan  
Monet

訪問ガイド 2026

# モルラン・モネ美術館

パリ・から 14.19€

---

<https://marmottan.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



起源 & 歴史

## 狩猟小屋から印象派の神殿へ

GOOGLE **4.6** ★★★★★ 10 253 レビュー

TIQETS **4.6** ★★★★★ 6 607 レビュー

マルモッタン・モネ美術館の起源は、1882年にジュール・マルモッタンがブローニュの森近くに購入した旧狩猟用パビリオンにまで遡ります。この邸宅は息子ポール・マルモッタンによって改修され、ルネサンスからナポレオン時代にかけての芸術品を収める個人コレクションの拠点となりました。控えめな建築的魅力を保ちながら、ここは次第に芸術の神殿へと変貌していったのです。

1932年、ポール・マルモッタンが没すると、彼はこの邸宅と膨大なコレクションをアカデミー・ドゥ・ボーザールに遺贈しました。翌1934年、一般公開が始まり、フランス美術史における重要な地位を確立する第一歩を踏み出します。初期のコレクションには、イタリアやフランドルのプリミティヴ、そしてダヴィッドやイニョーによる第一帝政時代の芸術が含まれており、当時のエリート文化の洗練さを反映しています。

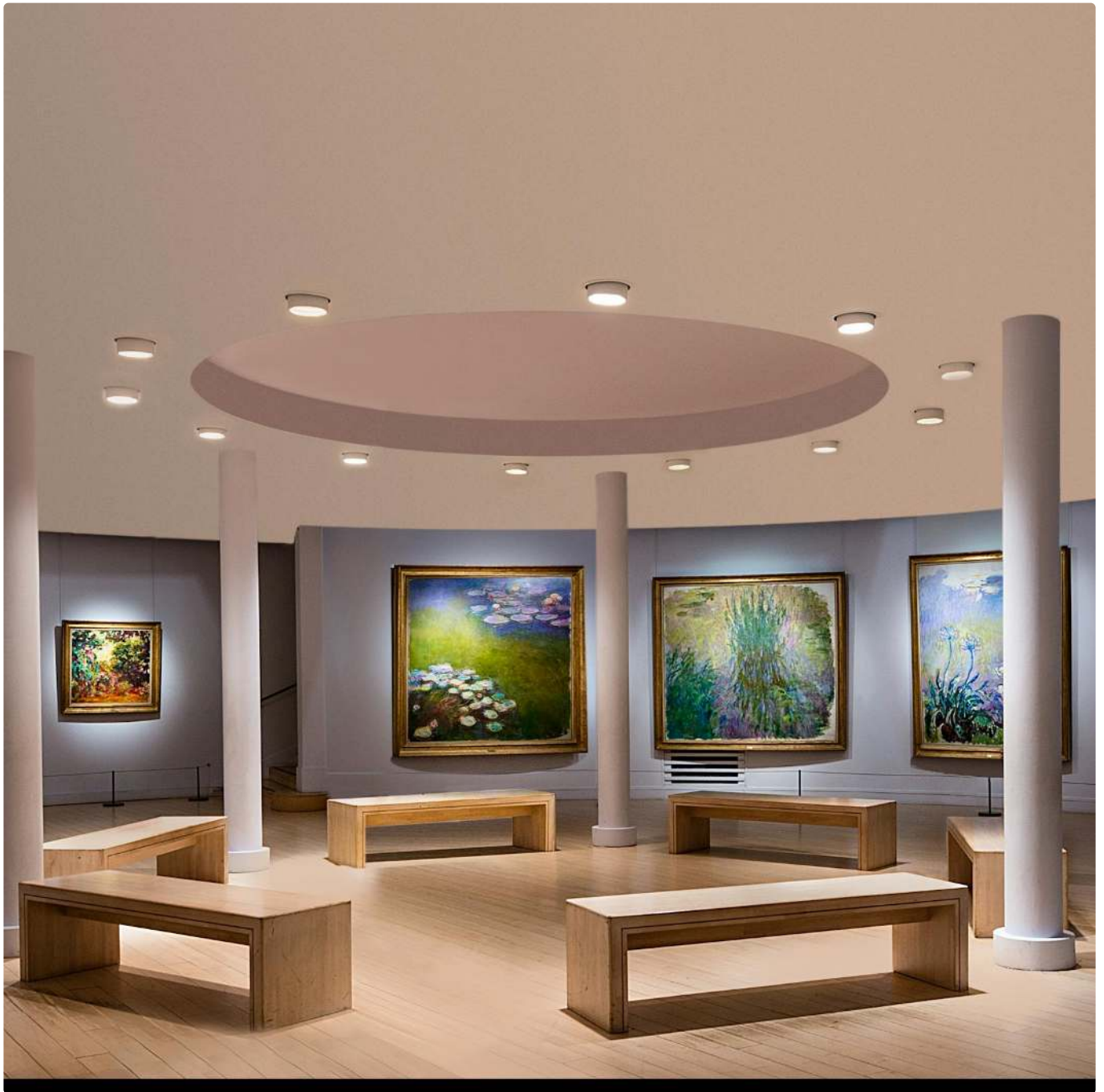
1957年のヴィクトリーヌ・ドノップ・ド・モンシー夫人による寄贈は転換点となりました。彼女は11点の印象派絵画、特に運動の名前の由来となった『印象、日の出』を含む作品群を永久に提供し、美術館の方向性を印象派へ大きくシフトさせました。この遺産により、マルモッタンは単なる宮廷美術館ではなく、近代芸術の中心地としての顔を持つようになったのです。

1966年、クロード・モネの息子ミシェル・モネが父の89点の絵画と個人コレクションを遺贈したことで、美術館は世界的な注目を浴びます。建築家ジャック・カルルーは公園下に専用ホールを建設し、1970年に開館しました。この壮大な遺産により、現在ではこの機関は世界最大のモネコレクションを保持する象徴的な存在となっています。

## 体験

入口をくぐると、19世紀末の邸宅特有の静寂と、歴史の重みが訪れ人を包み込みます。自然光が窓から差し込み、木製の床と繊細な額装が調和し、時間の流れを忘れるような空間が広がっています。睡蓮の間への期待が高まる中、まず迎えるのは帝国時代の豪華な内装であり、視覚的な旅の序章となります。

展示室を進むにつれ、色彩が徐々に鮮やかになり、印象派の光の世界へと誘われます。壁面を覆うキャンバスは、油彩の質感だけでなく、画家たちの瞬間的な感情を伝える生きた記録です。混雑のない落ち着いた雰囲気の中で、各作品にじっくりと向き合い、感覚が刺激される体験を存分に味わうことができます。



訪問の準備

## 実用的な情報

|                                                                                           |                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>住所</div> <div>16区・メトロ：La Mquette（9号線、直結出口）またはRER C（Henri-Martin、徒歩5分）。</div>         | <div>開館時間</div> <div>火曜日から日曜日まで開館しています。月曜日の具体的な開館時間は展示によって異なりますので、公式サイトでご確認ください。</div> |
| <div>料金</div> <div>年齢に応じて子どもは無料（variantsをご確認ください）。{promo}。</div>                          | <div>所要時間</div> <div>1時間30分から2時間を確保し、常設コレクションと現在開催中の特別展を存分に楽しんでください。</div>             |
| <div>写真撮影</div> <div>フラッシュや三脚を使わない限り、写真撮影は許可されています。視覚体験の一部である時代ごとの額装をじっくりと記録してください。</div> | <div>対象者</div> <div>アート愛好家やご家族に最適です。木曜夜の静かな雰囲気は、混雑なく作品を鑑賞するのにぴったりです。</div>             |

アクセス方法

## アクセス & 交通手段

|                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div></div> <div>地下鉄 / RER</div> <div>: モーツアルト通り — 6 min à pied</div> <div>モンパルナス駅 (16 min) ・ 北駅 (23 min)</div> |
| <div></div> <div>バス</div> <div>: Ranelagh — 6 min à pied</div> <div>モンパルナス駅 (25 min) ・ ノートルダム駅 (36 min)</div>   |
| <div></div> <div>自動車</div> <div></div> <div>モンパルナス駅 (18 min) ・ ノートルダム駅 (26 min)</div>                           |
| <div></div> <div>Vélib / 自転車</div> <div></div> <div>モンパルナス駅 (22 min) ・ ノートルダム駅 (34 min)</div>                   |

## LOCALISATION

# Où se trouve モルラン・モネ美術館？



📍 2 Rue Louis Boilly — 75016 パリ

🌐 48°51.556' N, 2°16.034' E



組 織

## 邸宅内の鑑賞ルートガイド

### 地下階 (睡蓮の間)

1970年に開館した円形ホールで、クロード・モネ晩年の大規模な睡蓮シリーズを収めています。完全な没入感により、画家が想像した視覚的体験を生きることができます。天井からの自然光が水面の反射を強調し、色彩の変化をダイナミックに表現します。

### 1階 (常設展・印象派)

印象派の主要作家、モネ、Renoir, モリゾーらの作品が年代順に展示されています。時代ごとの額装が視覚的体験の一部となり、作品の知覚される価値を強化しています。ベルト・モリゾーの解説を読むことで、女性印象派の重要性を理解できます。

### 2階 (帝国時代・初期コレクション)

ジュールとポール・マルモッタンのコレクションを中心に、第一帝政時代の家具、彫刻、絵画が展示されています。ダヴィッドやイニョーの肖像画、そしてカンヴァやショデによる彫刻が見どころです。また、ジョルジュ・ウィルデンシュタイン室には中世からルネサンス期の写本飾りが収められています。

#### アクセシビリティ

##### 車椅子アクセス

メイン入口と主要展示室は車椅子対応です。

##### ファミリー向け

すべての年齢層に適した、発見しやすい静かな雰囲気。

##### オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語, イタリア語, ドイツ語



選 択

## 絶対に外せない見どころ8選

### 01 クロード・モネ 地下階

#### 睡蓮の間

モネ晩年の大作が円形に配置された没入型空間です。色と光の相互作用を観察し、感覚がどう影響されるかを感じてください。これは美術館の象徴であり、最も混雑しがちな場所でもあります。

💡 オルセー美術館の大規模な装飾にインスピレーションを得て設計されました。

### 02 クロード・モネ 1階

#### 印象、日の出

印象派という名前を決定づけた有名な作品です。霧の中の港を描いたこの絵は、運動の誕生を告げる歴史的意義を持っています。筆触の曖昧さと色彩の透明性に注目してください。

💡 1985年の盗難事件でオーベルヴィリエのギャング団によって盗まれ、コルシカ島で発見されました。

### 03 ベルト・モリゾー 1階

#### ベルト・モリゾーの作品群

世界初のモリゾーコレクションとして知られています。彼女の作品は同時代の男性作家たちと完璧に対話し、女性視点での印象派を照らしています。あまり知られていない側面ですが、美術史において不可欠です。

💡 1993年の遺贈のおかげで、美術館はこの希少なコレクションの保管者となりました。

### 04 フランソワ・ジェラール 2階

#### 第一帝政時代の肖像画

ナポレオン時代の貴族や著名人を描いた肖像画のコレクションです。精巧な額装と衣装の詳細が、当時の社会階層と美的基準を示しています。イニョーやダヴィッドの作品も含まれます。

💡 ポール・マルモッタンの個人的な趣味に基づいて収集された初期の核となっています。

## 05

ジャン・フルベール 2階

## ジョルジュ・ウィルデンシュタイン室

13世紀から16世紀にかけてのフランス、イタリア、フランドル、英国の学校による写本飾りの例外集です。サン・ディ・ピエトロやジュリオ・クローヴィオの手になるものも含まれます。細部まで描かれた金箔と彩色が輝いています。

💡 2010年から2階に移転し、より良い照明の下で鑑賞できるようになりました。

## 06

アンリ・デュヘム 1階

## デュヘム・コレクション

北フランスの画家兼コレクター、アンリ・デュヘムとその妻マリーが構築したコレクションです。ボダン、ブロン、ロート、ゴーガンなどの19世紀後半から20世紀初頭の作品を含みます。リムブランドトの作品も収められています。

💡 1985年に遺言執行者のnelly Sergeant-Duhemによって全コレクションが寄贈されました。

## 07

クロード・モネ 1階

## モネの風景画シリーズ

ジヴェルニーやアルント周辺の風景を描いた一連の作品です。季節や時間帯による光の変化を捉え、自然との深い結びつきを示しています。筆触の流動性と色彩の豊かさに注目してください。

💡 ミシェル・モネの1966年の遺贈により、89点の絵画が追加されました。

## 08

ミケル・ハイダー 2階

## 初期のプリミティヴ

イタリア、ドイツ、フランドルの初期の画家による作品群です。宗教的なテーマが多く、中世からルネサンスへの移行期の特徴を示しています。彫刻、タペストリー、ステンドグラスも含まれます。

💡 ジュール・マルモッタンの中世への情熱を反映した初期のコレクションです。

## アドバイス

## 最高の訪問のための実用的アドバイス

## TIMING

ちょうど開館時に到着してください。展示室は10時以降すぐに空いてくるため、主要作品を人混みなく鑑賞でき、理想的な自然光と静けさを享受できます。

## BILLET

通常の入場には予約は必須ではありませんが、ピーク時の行列を避けるために強く推奨されます。繁忙期にはサイト公開と同時にチケットが売り切れるため、数日前にオンラインで購入してください。

## PARCOURS

睡蓮の間から始めることをおすすめします。この没入型の空間は最も混雑しがちですが、訪問の最初に見ることでより良い体験を保證されます。その後、1階の印象派、2階の帝国時代へと進んでください。

## PHOTO

フラッシュや三脚を使わない限り写真撮影は許可されています。時代ものの額縁は視覚的体験の一部であり、特別な注意に値します。キャンバスだけでなく、博物館全体の装置を観察してください。

## PAUSE

近隣のラネルagh庭園は、出発前に地域の建築を眺めながら平和な休憩を提供します。ゆっくりと散歩し、美術館の瞑想的な雰囲気を延長するのに最適な機会です。

## ENFANTS

すべての年齢層に適した、発見しやすい静かな雰囲気です。木曜夜の静かな雰囲気は、混雑なく作品を鑑賞するのにぴったりで、家族連れにも優しい環境です。

## AUDIOGUIDE

オーディオガイドは4ユーロで、常設展も特別展もカバーしています。ベルト・モリゾーに関する解説を読むことで、重要なアーティストについて目を開かされるので、ぜひ利用してください。

## CONFORT

邸内の各部屋間の移動を容易にするための特別な設備が整っていますが、歩き回る時間を考慮して快適な靴を履いて来てください。月曜日は展示によって開館時間が異なるため、公式サイトを確認してください。

よくある質問

## よくある質問

マルモッタン・モネ美術館のチケットは予約が必要ですか？

通常の入場には予約は必須ではありませんが、ピーク時の行列を避けるために強く推奨されます。繁忙期には、サイト公開と同時にチケットがすぐに売り切れます。数日前にオンラインで購入し、希望する時間帯を確保してください。

マルモッタンのチケットでオルセー美術館に入れますか？

いいえ、共通パスがない2つの独立した機関です。両方訪問したい場合は、各美術館ごとに個別のチケットを購入する必要があります。この違いにより、モネや他の作家の特定の作品を正確にターゲットにできます。

プロモーションや割引料金はありますか？

学生、グループ、および18歳未満の方は身分証明書提示で割引料金があります。マルモッタン-ジヴェルニー共通チケットもファンにとって魅力的な価格優遇を提供します。訪問前に公式サイトで正確な条件を確認してください。

美術館の見学にはどのくらいの時間を確保すべきですか？

常設および特別コレクションを存分に楽しむために、1時間30分から2時間の見学を推奨します。この時間なら、睡蓮の間や時代ごとの額装の詳細をゆっくりと鑑賞できます。開館直後に到着すれば、主要な作品を混雑なく鑑賞できます。

モネのすべての睡蓮をマルモッタンで見られますか？

一部の作品はオルタリーで展示されているか、他の機関への一時貸出中です。そのため、ルート計画の前に現在のコレクションを確認することが重要です。それでも、マルモッタンはこれらの絵画の非常に豊かで独自の年代順セレクションを所蔵しています。

ご存知ですか？

## エピソード & トリビア

### 1985年の大盗難事件

1985年、モネを含む9点の絵画が昼間に盗まれました。これらの名作は最終的にコルシカ島で発見され、それは1990年のことでした。5年間にわたる芸術的な逃走劇は、フランス中を釘付けにし、セキュリティ対策の見直しを促しました。

### 建物の起源

この美術館は、1882年にジュール・マルモッタンが購入した旧狩猟用バビリオンにあります。邸宅へと改修されたこの場所は、控えめな建築的魅力を保ちながら、芸術の神殿へと変貌しました。歴史的な背景が現在の雰囲気を作り出しています。

### 世界的な集中度

クロード・モネの絵画100点以上を擁し、この美術館はこのアーティストの世界最大のコレクションを保持しています。この例外的な集中度は、パリの大規模総合美術館の混雑から離れ、立ち寄る価値を十分に証明しています。専門性がその魅力です。

### 女性印象派の再評価

ベルト・モリゾーコレクションのおかげで、しばしば忘れ去られてきた女性たちの印象派への貢献が独自の視点で照らされています。彼女の作品は同時代の男性作家たちの作品と完璧に対話しています。美術史の盲点を埋める重要な役割を果たしています。

## 博物館周辺

美術館はパリ16区の閑静な住宅街に位置し、ラネルagh庭園に隣接しています。見学直後、この歴史的な公園で穏やかな散歩を楽しむのがおすすめです。庭園の緑陰は、美術館の瞑想的な雰囲気を延長し、疲れた足を休めるのに最適です。さらに、ブローニュの森もすぐ近くにあるため、広大な緑地空間で自然を楽しみながら息抜きできます。食事はミュエット駅近くのカフェ・ド・ミュエットなど、親しみやすいテラス席のある店で軽く済ませるのが良いでしょう。周辺にはオルセー美術館などの他の名所もあり、一日かけて文化的な探求を続けることも可能です。

マルモットンを訪れることは、単なる鑑賞ではなく、時間を超えた対話に参加することです。モネの光と影、モリゾーの繊細な筆致に触れることで、あなたは自分自身の感性を再発見するでしょう。静かな感動とともに帰路につくとき、その記憶は心の中に永遠に残り続けるはずです。